

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年6月5日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師		化学療法委員会承認年月 平成 年 月
レジメン名	CapeOX(XELOX)(胃がん)			
疾患名	胃がん	適応の備考		
適応分類	進行再発、術後補助			
1コース日数	21 日間	総コース数	コース	催吐性リスク 中等度
抗がん剤投与量・投与日 オキサリプラチン130mg/m ² day1、カペシタビン2400mg~4200mg/body /日 分2経口投与 day1夕食後~day15朝食後				
治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)				

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	クラニセロン注ハック1mg/50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	テキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																				
		テキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body			●																			
2	主ルート	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注	オキサリプラチン	130 mg / m ²		●																				
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	点滴静注																								
4	経口投与	カペシタビン	9999 mg / body		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
		分2 朝夕食後																							
	(体表面積)	1.36m ² 未満 1回1200mg/body																							
		1.36~1.66m ² 未満 1回1500mg/body																							
		1.66~1.96m ² 未満 1回1800mg/body																							
	1.96m ² 以上 1回2100mg/body																								
	1日2回、day1夕食後~day15朝食後まで服用																								
5	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●																	
		分2 朝昼食後																							

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例: Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

カペシタビンは、C法で投与する。投与量は体表面積により、1日2回、day1夕食後~day15朝食後まで14日間服用し、その後7日間休薬

day4のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる

day1のデカドロン注は、6.6mgでもよい

デキサメタゾンを積極的に使用できない場合は、デキサメタゾンday2~4の代わりに5HT3拮抗薬day2~4を追加する

オキサリプラチン: 希釈は5%ブドウ糖液のみ。